

平成 30 年度 第 12 回

宍粟市教育委員会

# 会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 31 年 3 月 15 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 402 会議室

## 第12回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### 1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成31年3月15日（金） 午前9時30分～午前11時14分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 402会議室

### 2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	片山繁樹	委員
	中山由香里	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

前田正人	教育部長	山本信介	教育部次長
田路正幸	教育部次長	進藤美穂	教育総務課長
世良繁信	学校教育課長	中尾善弘	こども未来課長
西林文隆	施設整備課長	原 真弓	社会教育文化財課長
池本雅彦	学校給食センター所長	小河秀義	市民協働課長
福元佳代	教育総務課副課長		

### 3 開会

西岡教育長が開会した。

### 4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

### 5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

片山委員

### 6 前回会議録の承認

平成30年度第11回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

### 7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

### (1) 幼稚園・こども園の卒園式、小・中学校の卒業式及び入学式について

3月8日の中学校卒業式には、ご出席いただきありがとうございました。引き続き3月19日に幼稚園・こども園の卒園式、3月22日に市内12小学校の卒業式が予定されている。更には、4月8日には小・中学校の入学式が予定されているので、併せてご出席をよろしく申し上げます。

### (2) 幼保一元化推進状況について

戸原地区・一宮北地区幼保一元化協議会は、2月をもって新園開園に向けた全ての協議を終了した。両園ともに4月1日に開園し、保育園部の子どもを受け入れる。幼稚園部については、4月10日に入園式を行う予定である。4月3日に一宮北こども園、4月4日に戸原こども園の竣工式を行う予定である。ご案内しますのでご出席をよろしく申し上げます。

### (3) その他

前回の教育委員会で協議いただいた宍粟市一般会計3月補正予算については、3月7日の議会で議決いただいた。

4月21日開催予定の第14回さつきマラソンについて、昨年以上の申込みとなっている。

## 8 議事

議事に入る前に、第25号議案は、人事案件であることから非公開にしたいと教育長が説明し、審議の結果、全員「異議なし」とし、第25号議案は協議報告事項終了後の非公開審議が決定された。

### 第26号議案 宍粟市小中一貫教育の推進および整備方針(案)について

本市において小中一貫教育を推進するにあたり、基本的な方針を策定する必要があるため、小中一貫教育の推進および整備方針(案)について、世良学校教育課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、決定された。

### 委員の主な意見及び事務局等の説明

(片山委員)

16ページ、学校運営協議会の設置について、一つの中学校区で一つの学校運営協議会が望ましいと思うが、今、一宮北小学校と一宮北中学校には学校別に運営協議会が設置されているか教えてほしい。

(学校教育課長)

一宮北小学校、一宮北中学校にそれぞれ学校運営協議会が設置されている。

(前田委員)

21ページ、今後の予定ですが一宮北小・中学校をかわきりに、全市に小中一貫教育を広めるといいますか。

(学校教育課長)

一宮北小・中学校をかわきりに全市にわたって進めていきたいと考えている。

(金本委員)

千種中学校区の連携の様子を拝見すると、こども園から高校に繋がっていくという進め方であると思う。小中一貫教育となると、今でも先生方は大変忙しそうに思うが、その辺がどのように変わっていくのかという疑問な点がある。また、地域の保護者の方々の理解がどのくらいあるかによって、進め方も違ってくると思うが、どのように考えておられるのか。

(学校教育課長)

千種小中学校においては、先ほどご説明した内容について85%ほどはクリアしていただいていると思っている。千種町では、幼保小中高連携が行われているが、幼保小中高の小中の部分が、小中一貫校という形で連携が進むのではないかと考えている。千種小中学校においては、実際にカリキュラムの策定が第一にクリアすべき問題で、それがクリアできれば、スムーズに移行できるのではないかと考えている。2点目については、確かに全く負担がないわけではないが、地域、保護者、教職員に丁寧に説明し周知しながら進めていく必要がある。そのためには、ある程度年数が必要であると思っている。一宮北小中学校をできれば平成32年4月か平成33年4月に、それ以外の小中学校については、その後10年間を通して全ての小中学校を小中一貫校にするスケジュールである。10年間をかけて丁寧に進めていきたいと考えている。

(金本委員)

地域の理解を求めるには10年くらいかかるのではないかという気がする。特に千種の場合は、早くから進めているということもあるので、地域も結構受け入れて、いろいろな行事にも積極的に参加していただいていると思う。

(片山委員)

16ページ、地域による支援について、地域とともにある学校づくりということで、地域全体の理解と協力が必要であるため、保護者や地域住民とビジョンを共有し丁寧に進める必要があるため、地域のビジョンはどういうものなのかを、アンケート等で集約する必要があると思う。また、学校とのビジョンの摺り合わせにも時間がかかると思う。地域も学校に対してどういったことができるのかということのを待っている状況であると思う。学校側から一方的ではなく、地域の支援を引き出す時間を十分取らないといけないと思う。今後10年間については地域によって進み具合は変わってくると思うが、今後の予定で、平成31年4月に市校園所長会とPTA総会に事務局より説明があるということですが、これをスタートにするとなれば、地域による支援が必要な部分もあると思うので、例えば自治会長会への説明等、最初のきっかけを事務局で作る必要があると思う。大事な点であると思う。

(学校教育課長)

自治会長会の説明は、当初予定していないが必要であると理解するので計画に入れていきたいと思う。前段のご意見について、12ページ「ふるさと学」で、地域のご意見や子ども達の義務教育9年間で培いたい子ども像を共有するために、いろいろなご提言をいただきながら「ふるさと学」を作る。地域の方々のご意向やご意見を踏まえたうえでカリキュラムを組むという、いわゆるカリキュラムマネジメントで、社会に開かれた教育課程を真っ先に具現化できるところではないかと思うので、学校と地域の方が望ましい子ども像、育てたい子ども像を共有しながら、一つのカリキュラムを組み上げるということをやっていきたいと考えている。

(前田委員)

小中一貫校は全国的に推進されているのですか。

(学校教育課長)

全国的に推進されている。例えば、近隣では姫路市に4つの学校が、義務教育学校としてスタート、或いはこの春からスタートする。

(中山委員)

14 ページ、一宮北中学校区は小中学校が併設しているのでイメージが分かりやすいが、小中学校が離れている場合とか、一部の小学校が中学校の近くにある場合などのイメージを説明してほしい。

(学校教育課長)

14 ページ上の小中学校が離れている校区は、本市では山崎東中学校、波賀中学校、千種中学校が該当すると思う。似たところで小野市立河合小中学校が、併設型小学校、併設型中学校としてスタートしている。河合小中学校の場合は、小学校と中学校の距離は1 km くらい離れている。なお、河合小中学校の場合は、13 ページ(6)の5-4制で、小学校6年生は中学校校舎で授業を受ける形をとっている。形態についての議論が必要であるが、例えば、山崎東中学校区では、各小学校で6年生になると山崎東中学校に行き授業を受けるという5-4制は可能であると考えられる。その場合は、6年生の担任の先生と一部の小学校の先生は中学校の職員室に入る形になると思う。

(中山委員)

毎日、中学校へ通学するという考え方になるのか教えてほしい。

(学校教育課長)

その通りである。

(西岡教育長)

既に授業の交流は8~10年ほど行っている。小学校の先生が中学校に、中学校の先生が小学校に行き交流事業を行っている。学習面だけでなく、生活面のルールや養護教諭を中心に健康面の取り組みも続けているので、子ども達にはあまり違和感はないと思う。

(前田委員)

全国的に推進されている理由を教えてください。

(学校教育課長)

1 ページ、2 策定の背景(2)、従来の6-3制が現在の教育課程となっているが、導入された昭和20年代前半と比較すると、例えば、平成25年度の児童生徒の身長伸びや体重伸びの大きい時期は、2年程度早まっている。女子の平均初潮年齢についても、2年程度早まっているなど、6-3制が時代に合っていないのではないかという議論がある。また、文部科学省が行った各種アンケート調査では、「学校の楽しさ」「教科や活動の時間の好き嫌い」について、小学校4年生から5年生に上がる段階において肯定的回答をする児童の割合が下がる傾向があることや「自分の周りの人から認められていると思いますか」という自尊感情に関わる質問に対しても、小学校高学年から急に否定的な回答が多くなるといった結果になってきている。小学校4年生、5年生頃に発達上の段差が存在しているにも関わらず、現状では6-3制をとっている。子どもたちの心や体の現状に教育制度が追いついていないのではないかという議論から、小中一貫教育の考え方が出されてきているとご理解いただきたい。

(前田委員)

子どもの人数が減少している。中学校は3学年しかなく深刻ではないかと思う。部活動でもチームが作れないなどの問題もあるので、将来を見据えて大事な取組みであると思う。将来的なビジョンとしては、小学校、中学校が1つの学校になるというビジョンはあるのですか。

(学校教育課長)

委員が言われたとおりの考え方であると理解している。小中学校で1つの学校ということである。ただ、18ページ【付録1】、Q1 児童が生徒に萎縮するのではないか。Q2 小学校高学年のリーダーシップが育ちにくくなるのではないかななどの疑念もあるので、制度面、心情面で十分な支援を行い、このようなことのないように対応していく必要があると考えている。

#### 第27号議案 宍粟市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則について

平成31年3月31日戸原保育所・三方幼稚園・一宮北保育所の廃止、平成31年4月1日戸原こども園・一宮北こども園の設置、また平成32年4月1日一宮南中学校区の認定こども園開園に向け、平成31年度から神戸幼稚園において3歳児教育を実施することに伴い、関係規則の整理を行うことについて、進藤教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、決定された。

#### 第28号議案 宍粟市就学援助規則の一部を改正する規則について

平成31年度要保護児童生徒援助費補助金の国庫補助単価の改正により、「卒業アルバム代等」が補助対象費目に追加されたことに伴い、宍粟市就学援助規則の就学援助の種類に追加し、規則の改正を行うことについて、進藤教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、決定された。

### 9 協議報告事項

#### (1) 宍粟市通学バス使用料の徴収及び減免に関する要綱等の一部を改正する要綱について

資料1「宍粟市通学バス使用料の徴収及び減免に関する要綱等の一部を改正する要綱」により、進藤教育総務課長が報告した。

#### (2) 宍粟市連合PTA活動補助金交付要綱等の一部を改正する要綱について

資料2「宍粟市連合PTA活動補助金交付要綱等の一部を改正する要綱」により、進藤教育総務課長が報告した。

#### (3) 宍粟市学童保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について

資料3「宍粟市学童保育事業実施要綱の一部を改正する要綱」により、中尾こども未来課長が報告した。

#### (4) 宍粟市立認定こども園通園バス運行要綱の制定について

資料4「宍粟市立認定こども園通園バス運行要綱」により、中尾こども未来課長が報告した。

(5) しそう学校生き活きプロジェクト事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

資料5「しそう学校生き活きプロジェクト事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱」により、世良学校教育課長が報告した。

(6) 宍粟市中学校部活動指導員設置要綱の制定について

資料6「宍粟市中学校部活動指導員設置要綱」により、世良学校教育課長が報告した。

(7) 宍粟市奨学生申請状況等について

資料7「宍粟市奨学金について」により、進藤教育総務課長が報告した。

(8) 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

資料8「平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」により、世良学校教育課長が報告した。

(9) 幼保一元化推進状況について

資料9「幼保一元化推進の状況」により、中尾こども未来課長が報告した。

(10) 市立幼稚園空調設備整備工事の契約について

資料10「市立幼稚園空調設備整備工事概要」により、西林施設整備課長が報告した。

(11) 学校給食における異物混入対応について

資料11「平成30年度学校給食センター異物混入状況及び対策」により、池本学校給食センター所長が報告した。

(12) 第14回宍粟市さつきマラソン大会の参加申込状況について

口頭により小河市民協働課長が報告した。

(13) その他

心のふるさと校歌保存事業について、口頭により進藤教育総務課長が報告した。

**委員の主な意見及び事務局の説明**

(前田委員)

37ページ、しそう学校生き活きプロジェクト事業の指導員はどのような方がされるのか教えてほしい。

(学校教育課長)

小中学校の理科教員が指導する。

(前田委員)

この事業の対象学年と市内全体で活動は行われるのか教えてほしい。

(学校教育課長)

「ふるさと宍粟探検隊補助事業」は小学校4年生が対象でしたが、新しい「しそ森林の探検隊プラン」は小学校1年生から中学校3年生までが対象である。拡大すると幼保・小・中一貫教育推進プランの取り組みである。小学校4年生だけではなく、市内全体の学校園所の子ども達が全て対象となる授業と考えている。

(片山委員)

48 ページ、幼保一元化推進状況について、戸原こども園と一宮北こども園の幼稚園部の内訳がわかれば教えてほしい。

(こども未来課長)

戸原こども園の幼稚園部は7名で、3歳児が6名、4歳児が1名である。城下幼稚園区が5名、戸原幼稚園区が2名である。一宮北こども園の幼稚園部は15名で、3歳児が8名、4歳児が1名、5歳児が6名である。

(前田委員)

38 ページ、中学校部活動指導員については、どういう方が指導員になれるのか教えてほしい。

(学校教育課長)

現在、学校より10名の指導員の配置希望がある。既に非常勤で働いている特別支援教育推進員の方とか、外部コーチで既に学校で指導していただいている方である。

(前田委員)

部活動指導員は今後増員されていくのですか。

(学校教育課長)

年々拡充していきたいと考えている。

(前田委員)

実際に小中一貫校を実施されている学校の成果について教えてほしい。

(学校教育課長)

小野市立河合小中学校は導入して3年目くらいになるが、直接的な因果関係は別であるが、学力が凄く伸びた。学力状況調査などでも、ポイントがかなり跳ね上がったということである。やはり小学校6年生で、実際に中学校の勉強を受けるわけではないが、雰囲気を楽しむことで真剣に授業に集中して取り組む姿勢が、小学校6年生から育ったという話も聞いている。

(西岡教育長)

かつては一宮北校区の学力はわりと低かったが、今は小学校、中学校共に全国平均より高い状況が続いている。これも成果ではないかと思っている。

## 10 次回会議の招集について

平成31年4月12日（金）午後5時00分から、平成31年度第1回宍粟市教育委員会を開催するとした。

## 11 閉会



金本委員が閉会した。

以上 午前 11 時 14 分終了